

目白大学教員免許状更新講習 プログラム

A 日程 (土曜日程)

6月15日(土)

6月22日(土)

6月29日(土)

7月6日(土)

7月13日(土)

B 日程 (夏休み日程)

8月4日(日)

8月5日(月)

8月6日(火)

8月7日(水)

8月8日(木)

第一日目
必修講座

第二日目
選択必修講座

第三日目
選択講座

第四日目
選択講座

第五日目
選択講座

全対象

教育の最新事情

180名

幼稚園教諭

幼児の発達に応じた
保育内容

70名

① 小学校教諭

小学校教師向け
英語講座

20名

⑤ 幼稚園教諭

動物の理解と
飼育

50名

⑨ 幼稚園教諭

子どもの想像力を
引き出すための
造形表現

-シルクスクリーン-

40名

小・中・特支 教諭
養護教諭

道徳教育

50名

② 幼・小・中・高 教諭
養護教諭

教師の
メンタルヘルス

70名

⑥ 幼・小・中・高 教諭
養護教諭

実践力を育てる
生徒指導論

70名

⑩ 小・中・高 教諭
養護教諭

情報メディアの活用
ICT 活用とビデオ教材制作

50名

中・高・特支 教諭
(英語教諭)

英語教育

20名

③ 小・中 教諭
養護教諭

発達障害を抱える
児童生徒の
基本的理解と対応

70名

⑦ 小・中 教諭
養護教諭

児童・生徒の
カウンセリング

-個別と集団を対象に-

30名

⑪ 小・中 教諭
養護教諭

学校カウンセリング

A日程 30名

B日程 70名

小・中・高・特支 教諭
養護教諭

教育の情報化
情報活用能力の育成と
プログラミング

40名

④ 幼・小・中・高 教諭

多文化共生社会の
日本語

30名

⑧ 小・中・高 教諭

外国人
児童・生徒の
漢字学習

60名

※
A日程のみ開講

⑫ 幼・小・中・高 教諭

学校における
中国語

30名

A 日程と B 日程を
組み合わせて受講できます

朝の受付 : 8:30 - 09:00

講習時間 : 9:00 - 16:00

(6時間/テスト時間含む)

昼休み : 12:00 - 13:00

※ 下記の講座は
A 日程のみ開講と
なりますのでご注意ください

第四日目 選択講座⑧

「外国人児童・生徒の漢字学習」

お申込に関する注意事項

- ・各講座6時間で、計5講座（必修1・選択必修1・選択3）までお申込いただけます
- ・A日程とB日程を自由に組み合わせて受講できます
- ・**必ず 更新する免許状の種類（教諭・養護教諭の区分）の講座をお申込ください**

講座内容に合わせ、推奨される校種（幼・小・中・高・特支）が示されていますが、受講者を制限するものではありません
校種や教科等が異なる場合も受講可能ですが、Web登録の自由記入欄に受講動機をご記入の上、お申込みください

- ・第四日目 選択講座⑧「外国人児童・生徒の漢字学習」はA日程(7月6日/土)のみの開講となりますのでご注意ください

第一日目 必修講座 6/15(土)・8/4(日)

[▶ 講習プログラムに戻る](#)

教育の最新事情

全対象

180名

「教育政策の動向」グローバル化に対応した人間形成を目指し、教育政策はいま大きな変革の時期を迎えている。この講座では、世界の教育動向も視野にいれつつ、今後の教育施策の方向と、それに対応した教育実践の在り方を共通理解していく。

「子どもの変化と対応」近年、子ども達を取り巻く社会文化的環境は大きく変化している。近年の子ども達の特徴とその背景を把握するとともに、具体的な対応方法について検討していく。

尾崎 春樹（本学理事長）
丹 明彦（人間学部准教授）

第二日目 選択必修講座 6/22(土)・8/5(月)

[▶ 講習プログラムに戻る](#)

幼児の発達に応じた保育内容

幼稚園教諭

70名

新しい「幼稚園教育要領」において、幼児期における「主体的・対話的で深い学び」の視点が重要であると示されている。本講義では、「主体的・対話的で深い学び」をささえる幼児期におけるアクティブラーニングについて解説していきます。また、アクティブラーニングを実践していくため、一人ひとりの子どもの発達をふまえた子ども理解の重要性を学んでいくとともに、子どもの育ちを支える保育者の援助や環境構成の方法について考えていきます。上記のことに関連して、カリキュラム・マネジメントについても触れる内容です。

高橋 弥生（人間学部教授）
原 孝成（人間学部教授）

道徳教育

小・中・特支 教諭

養護教諭

50名

「特別の教科 道徳」とはどのようなものなのか、従来の指導法や評価方法と何が変わったのか等、詳細な道徳授業の指導等ではなく、道徳教育の概要や道徳科の学習内容・評価についてあらためて学びたいという方を対象とした講座です。ここでは最新の教育データや諸外国の動向、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れながら、教員自らが道徳教育を身近なものとして捉え直し、日常の指導に活かしていくことを目指します。

醍醐 身奈
(武蔵野音楽大学音楽学部講師)

英語教育

中・高・特支 教諭（英語）

20名

ネイティブスピーカー講師が4時間を担当し、教師の英語力向上をはかるとともに、授業への応用について検討します。主として、イントネーションおよびcommunicative activitiesをとりあげます。日本人講師は2時間担当し、授業案作成のヒントとなる、英語教育の理論や第2言語習得論を紹介します。

渡部 祥子（外国語学部教授）
ウェルズ リンジー
(外国語学部専任講師)

教育の情報化（情報活用能力の育成とプログラミング）

小・中・高・特支 教諭

養護教諭

40名

教育の情報化に関する諸施策を踏まえ、授業でのICT活用、情報教育の具体的な内容とその方法、効率的な校務処理、学習指導要領の改訂を踏まえた一人1台等のICT環境における先導的な取り組み、その効果と問題点等を一緒に考えます。また、児童生徒に対する情報モラル教育の進め方や家庭連携の必要性について、発達段階に応じた教材とその指導案、実践事例を紹介します。

原 克彦（社会学部教授）
藤谷 哲（人間学部准教授）

① 小学校教師向け英語講座

小学校 教諭

20名

外国語活動を概観し、それを基に授業に取り入れる効果的な活動をグループで演習します。

- ① 絵カードを使った活動 ② ゲームを使った活動 ③ 歌を使った活動 ④ 絵本を使った活動
⑤ 高学年児童の認知レベルにあった活動 ⑥ 評価

祁答院 恵古
(荒川区英語教育アドバイザー)
(中野区小学校英語講師)
(小学校英語教育研修講師)

② 教師のメンタルヘルス

幼・小・中・高 教諭

養護教諭

70名

教師という職業は、人間関係から生じるストレスのもっとも多い職業の一つであるといわれる。教師の心の健康は、児童・生徒の円滑な人格成長をはじめ教育活動の充実にもつながっていくと考えられる。

この講座では、メンタルヘルスやうつ病に関する知識を学ぶと共に、実際に自分の心理的ストレス状況を把握しながら、演習を通して、ストレス対処のための様々な方法を身につける（ストレスマネジメント）ことを目的とする。

石川 正憲（人間学部教授）
奈良 雅之（保健医療学部教授）

③ 発達障害を抱える児童生徒の基本的理解と対応

小・中 教諭

養護教諭

70名

学校教育において、発達障害という「障害」に関する知識や理解は確実に深まってきています。これからは、障害そのものよりも、発達障害という障害を抱える「子ども」と「家族」、そしてそれを取り巻く「環境」をより深く理解し、一人ひとりのニーズに応じた支援や教育の在り方の模索が強く望まれています。

この講座では、発達障害に関わる最新知見及び子ども達を取り巻く様々な社会的環境などを概観しながら、多様化する発達障害を抱える子どもと家族をより深く理解し、支援していくための具体的な在り方について検討していきます。

丹 明彦（人間学部准教授）
渡邊 はるか（人間学部専任講師）

④ 多文化共生社会の日本語

幼・小・中・高 教諭

30名

急速に多文化が進む日本社会の現状を学び、私たちが日々使用する日本語のあり方について考えます。また、教育現場で役に立つと思われるコミュニケーションの方法について、受講者主体のワークショップを交えながら学びます。

若井 知草（外国語学部専任講師）

⑤ 動物の理解と飼育

幼稚園教諭

50名

幼児期の終わりにまで育てて欲しい姿の1つとして「自然との関わり、生命尊重」が取り上げられています。このような目標を達成するためには、教員が生き物について正しく理解することが必要です。

本講習では、哺乳類、鳥類、昆虫などの飼育動物を中心に扱い方や飼育方法を講義・実践を踏まえて学んでいきます。

井門 彩織 (人間学部専任講師)

⑥ 実践力を育てる生徒指導論

幼・小・中・高 教諭

養護教諭

70名

平成 22 年に発行された文部科学省の「生徒指導提要」を手引にし、生徒指導とは何かについて再認識する。そして、生徒指導の在り方について理解し、学校現場における生徒指導の実践的指導力の向上を図る。

又、学校現場における積極的生徒指導や消極的生徒指導の具体例を発表し合い、よりよい生徒指導の在り方についてグループワークを行い、検討する。

山本 礼二 (人間学部教授)

⑦ 児童・生徒のカウンセリング – 個別と集団を対象に –

小・中 教諭

養護教諭

30名

午前中は児童・生徒に対して実施可能な集団プログラムをいくつか紹介し、理論背景の紹介と体験を交えた演習を行う。午後は、児童思春期の情緒的発達、繊細さや多感さを踏まえたうえで、どういった点に配慮し個別面接を進めていくか、傾聴や指示的面接といった観点から講義を行う。また、虐待や事件事故等で心に傷を負った子どもに対する対応についても述べる。

齋藤 梓 (人間学部専任講師)
浅野 憲一 (人間学部専任講師)

⑧ 外国人の児童・生徒の漢字学習

7/6(土)のみ開講

小・中・高 教諭

60名

外国人児童・生徒の漢字力に対して、困惑や困難を感じている先生方も多いと伺っています。まずは「どのような困惑や困難が生じているのか」「各現場でどのような取り組みをしてくれているのか」を共有し、現状を把握しましょう。そのうえで、今後どのような対応の仕方がありえるのか、次の一步を考える時間にしたいと思います。

濱川祐紀代 (外国語学部准教授)

⑨ 子どもの想像力を引き出すための造形表現－シルクスクリーン－

幼稚園 教諭

40名

版画（シルクスクリーン）表現・実技・指導が行えるように実践的な力や、制作における技術的な方法を習得する。子どもは想像することによって、いろいろな世界を創造の中で体験するものである。想像とは頭の中で思い描くことであり、推し量ることである。想像力を育むため、シルクスクリーンの版を用いて、版を重ね、想像していなかった表現が一瞬に仕上がる感動を子どもとともに味わう制作をすることが本講義の目的である。

おかもと みわこ（人間学部教授）

⑩ 情報メディアの活用 –ICT 活用とビデオ教材制作–

小・中・高 教諭

養護教諭

50名

情報社会の進展を踏まえ、教育における情報化の推進が課題のひとつとなっています。本講習では、「教育におけるICT活用」に関して、その具体的な活用方法に関する概説とともに、ビデオ教材の作成などを通して体験的に情報化のあり方を考えます。また、授業での教員の活用だけでなく、児童生徒に対する情報活用能力の育成や学習評価、校務での活用などについて演習をととして可能性を探っていきます。

原 克彦（社会学部教授）
藤谷 哲（人間学部准教授）
西尾 典洋（社会学部准教授）

⑪ 学校カウンセリング

小・中 教諭

養護教諭

7/13（土）30名
8/8（木）70名

本講習では、現代の子どもを取り巻く諸問題（不登校・いじめ・発達障害など）を取り上げ、その概要と具体的な対応について検討する。一次的な支援である予防、二次的な支援である問題の早期発見と介入、そして個別の問題に対する三次的な支援という視点から、子どものサインをどう把握していくか、それを成長の機会としてどうとらえ活かしていくか、そして昨今ますます重要となっている保護者や他専門機関との連携にも焦点を当てる。

■ 7/13(土)
杉本 希映（人間学部准教授）
■ 8/8(木)
黒沢 幸子（人間学部教授）

⑫ 学校における中国語

幼・小・中・高 教諭

30名

学校等で日本語母語話者と中国語母語話者が共に学ぶ際には、両者の言語習慣や文化の違いにより相手に対する誤解が生じることが予想される。本講習では、そうした誤解を可能な限り未然に防ぐべく、中国語母語話者の持つ背景に対する理解を深めることを目的とする。また、その目的のために必要となる初歩的な中国語の運用能力を身につけることも目指す。

■ 7/13(土)
黄 丹青（外国語学部教授）
■ 8/8(木)
伊藤 大輔（外国語学部専任講師）